



『支援者の苦労』と『利用者の苦悩』

社会福祉法人 もえぎの会 理事
八王子市障害者療育センター
施設長 藤田 進



対人支援の仕事に関わって40年近くなりますが、時々深い感慨を覚えます。人間の数だけ多様性があるわけですから、対応方法も千差万別。自分も省みて、己の引き出しにどれだけの中身があるのかが、問われる仕事でもあります。

昨今、対人支援職のメンタルケアが、以前にもまして、クローズアップされています。成果主義とはなじまなかった職場が、数値化され、「ゆとり」が奪われてしまっている現実はいたるところに存在します。現在、私は、通所職員のための研修企画に携わっていますが、ここ数年、職員のメンタルケアをテーマにすることが続いています。

最近、うつ病の知識も普及化していますし、書店に行けば、関連書籍はあふれています。ただ、専門医からの、若年で軽症だけれども、慢性的に続きやすい症例が増えつづけているという指摘は、今の時代状況を反映しているのでしょうか。

一方、発達障害者支援法の制定以降、知的障がい特別支援学校の児童生徒数が、激増しています。卒業生の受け入れをめぐる、今後大きな課題になるでしょう。

過日、ある児童精神医学の専門医と、発達障害者の支援をめぐる、議論をしたときに、〈KY〉という記号が話題にあがりました。流行語のように「空気がよめない」「空気をよめ」と飛び交う言葉です。そうした風潮や、やりとりが、どれだけ発達障害者を追い詰めているのか想像をしてみるべきだと。

今の日本社会が、自分たちの生活に侵入してくる異質なものに、過剰に敏感になり、容赦のないまなざしを投げかけているのは事実でしょう。余裕のない社会は、少数者に厳しくなります。そうではない社会を私たちはめざしてきたはずで、排除社会でなく、共生の社会をめざして。

2011年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように開催を予定しております。

7月23日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室
改めて、ご案内をお送りいたします。
ぜひご出席していただきますようお願いいたします。



しいの実社 2011年度事業計画

施設長 渡辺 浩成

新年度を迎えるにあたり、1歩ずつ実績を重ね、新しい年度もさらに小さな1歩を積み重ね、しいの実社らしく明るく、楽しく、温かさのある施設でいきたいと思えます。

法人として4月に2軒目のグループホームを開設します。利用する皆さんは、初めての経験になりますので、一人ひとりに合わせて受入れます。“親が活着ている間に仕事面と生活面で”将来の姿が見えるようにし、差し迫って課題の多い高齢化問題に積極的に挑戦します。

しいの実社は、今年、開設10年目に入りました。“10年ひと昔”といいますが、40名のスタッフのうち、その当時を知る人は4名になってしまいました。利用者である社員は、現在、49名となり、スタッフも利用者も増えましたが、新たな気持ちで前進し続けます。

しいの実社重点課題

3事業の運営となりますが、しいの実社は創設以来、仕事を中心とした施設であることには変わりはありません。支援については、社員の特性を考慮し、多様なニーズに対応します。併せて、高齢社員に配慮し、生活や健康維持のプログラム作りに取り組みます。

また、スタッフ間や事業所間の連携の強化に向けて、伝達や情報共有の方法を改善します。社員、家族との信頼関係をさらに強化し、長期的な視野にたった支援を、積極的に推進します。

- 生活介護事業
 1. 社員の安定した生活を支援します。
 2. 社員の特性に合った仕事を提供します。
 3. 体力の向上、生活の幅を広げる活動をします。
- 就労継続支援B型事業
 1. 2つの事業所の連携を図り、社員のニーズに合わせて柔軟に支援します。
 2. 生産作業を強化し、就労に向けた意識づくりをします。
 3. 高齢社員のプログラム作りに取り組みます。
- 就労移行支援事業
 1. 就労に向けて、基礎知識を身につけます。
 2. 生産を維持した上で、施設外の活動の機会を増やします。

事業は、しいの実社と沙羅の家の2つですが、事業所は5か所になります。今後は、さらに連携を強化し、利用者の皆さんが地域ですっと暮らしていけるよう、地域の皆さんに信頼され、貢献できますような取組みをします。そのためにも、町会、商店街、ご近所の方をはじめ、後援会の皆さんにも、親しみやすく安心できる施設にしたいと考えております。



作業風景 : 軌道に乗ったスマイルプラザのパン製造

販売報告

2月17日(木)ポケットカード(株)本社にて販売をさせていただきました。

ポケットカード(株)さんは、3年ほど前から土曜日の余暇活動や、研修旅行などにボランティアとして関わってくださっています。今回の販売では、ボランティアを通してしいの実社を知っている社員の皆さまだけでなく、多くの社員の皆さまが買いに来て下さいました。そして、今後も年に1~2回のペースで継続したいという嬉しいお声も頂きました。



担当の中嶋さんと

この貴重なご縁を、末永く大切にしていきたいと思えます。



販売の様子

しいの実祭報告

2010年11月27日(土)にしいの実祭を開催いたしました。天候にも恵まれ、900名を超える多くのお客様にご来場頂きました。社員も生き生きと接客をしながら、清水町会さんの焼そばや後援会の豚汁など美味しいものを食べたり、演奏を聴いたりと楽しんでいました。

オープニング

多くの皆さまのご協力、ご来場ありがとうございました。

楽器演奏



製品紹介

春の入学・入社シーズンを迎えて、気持ちも晴れやかになる季節となりました。

しいの実社の製品にも新たなラインナップや季節限定商品が登場しています。今回紹介した商品以外にも多くの商品が並んでいます。今年3年目を迎える学芸大学店と10周年を迎えるしいの実社店でご来店をお待ちしております！

クッキー



マーブルクッキー ¥250

粗目入りごまクッキー

¥150

粗目入り紅茶クッキー

¥200

パン



桜満開 ¥120

ストロベリーホーン

¥140

織物

草木染めショール ¥2000~

フェルトネックレス ¥800



クラフト

フェルトお名前ホルダー ¥150

桜柄ハガキ・カード・金封 ¥60~ ¥150



三友特金株式会社

昭和34年、高橋商会として創業。間もなく50周年を迎える三友特金(ミツモトキン)の高橋伸幸社長を上目黒の本社にお訪ねしました。

三友特金は鉄錫銅などの金属粉末を金型、プレス機に押し込み、ガチャンと上下加圧で固め出てきたものを電気炉で焼くと、クッキーを焼くように部品が出来上がりますと、解りやすく説明して下さいました。

製品の9割が自動車部品、他がOA機器などに使われ、「生活中で、必ず我が社の部品が入っている機械を使っています」というお話に、とても身近に感じました。「世界の9割のシェアを誇るコピー機メーカーに開閉部分の部品を納めていますので、コピー機を使ったことのある9割の人は我が社の部品を使っていることになり、多くの方々の役に立っているという思いです」とおっしゃる高橋社長。目黒から世界に発信です。

社是の「和道」は、先代から引き継がれた時、降ろそうと思われたそうですが、社長就任の頃、仕事先の中国や台湾、ベトナムで、日本人の強みや良さはやはり「和」であると、先代の掲げたことを再認識されたそうです。日本の成長は、「他の国民に比べ、特別に頭が良いわけでも、発想が特異でもなく、武士道に代表される気質、文化、規律のある清潔な国という強みを生かしたことで、資本力や合理主義だけでは他国に叶いません。和に帰る。だから掲げています。」とお話し下さいました。また、企業は大田区や東大阪のような職人のすばらしい能力により世界に通用していることを忘れていないか。若い職人を育て、和道、武士道の精神に戻るような人が出てこない...とお話し下さいました。

もえぎの会には沼野後援会会長と目黒の3MA会を通じてのご縁で、協力させていただいています。イベントの時に顔を出したいが、なかなかチャンスがなくて...とおっしゃる高橋社長。今年は、是非、10周年の記念事業にお越しく下さい。同じ上目黒の総合庁舎でお待ちしております。



ホームページ：
<http://www.mitsutomo.co.jp>

まさひろ珈琲店

住所：目黒区中央町1-17-9吉野ビル 電話：03-5721-3036

しいの実社学芸大学店もある東口商店街を抜けて、目黒通りに向かう途中に今年6月に7周年を迎える「Café&Restaurantまさひろ」があります。ドアを開けると、温かな珈琲の香りと落ち着いたBGMが迎えてくれます。

「まさひろ」の店名は、マスターと店長のお二人の名前から一字ずつ取って付けられたそうです。店内の壁に順序良く並んでいるサイフォンはお二人とも元某コーヒーメーカーご出身で、珈琲に携わったものの思い出でしょうか、とおっしゃる店長です。ここ数年は食事にも力を入れ、マスターのご実家、九州長崎、五島、壱岐から直送される食材をベースに、季節の厳選素材には「本日の魚膳」や「刺身膳」などのメニューもあります。マスターの弟さんであるチーフが腕をふるわれるお料理は、多彩なメニューで本当に選ぶのに迷います。ご自慢のカレーは3日間煮込んだものだそうです。ケーキも手作りです。

また、一瞬、ここはギャラリー？と思わせる店内には、陶磁器のふるさと長崎県波佐見町の轆轤(ろくろ)職人、伝統工芸士の中村平三さんの作品などが並んでいます。一つ一つ手に取ってじっくり見るのも楽しいです。

最後に店長から、これからは、お客様のニーズが多様化しているので、早目に察知して、こちらから提案していきたい。そして、ご近所の方にも気軽に利用していただきたいとメッセージがありました。

2月19日土曜開所のティータイム





ワッティ株式会社にお邪魔すると、広いオフィスのいろんな方向から社員の皆さんの「いらっしゃいませ！」と目の覚めるような明るい声が出迎えます。この挨拶こそが、百村賢司社長の言い続けていらっしゃる「人としての基本」です。

ワッティは1968年に防災・防犯機器や制御機器を扱う商社「京浜測器」として創設されました。それが、「感動供給会社」を目指すことになったのは「いい物を作り、それがお客様に評価され、ありがとう、いい付き合いができてよかった！」という「感動」を共有したい百村社長の熱い思いからなのです。そして2007年にワッティ株式会社と社名を変更し、精密機器で使うヒータユニットや液体の水位を検知するセンサーなど、製造業を展開してゆくこととなります。2006年に百村社長が就任され、企業理念である「わたしたちは企業活動を通じて社内外から評価されるDelight Providerを目指します」を合言葉に、今日に至っています。

挨拶やごみを拾うのはもちろんですが、人知れず何かを黙々とやっている人は尊敬します、とおっしゃる社長。会社独自のDelighTop<デライトトップ>賞はそんな思いが形になったものです。感動を及ぼすことは表彰に値すると、評価が目に見えにくい、裏で支えている、そんな人に光をあてる賞です。そういう人が増えていくのが良い会社なんでしょうねとおっしゃいます。

しいの実社とは、創業者の清水美知雄氏がもえぎの会の初代後援会会長に就任され、多大なご支援を頂いて以来のお付き合いで、今もしいの実社の社員が目黒配送センターで仕事をさせていただいております。その清水氏との出会いは、人が一番影響を受け成長し変わっていきけるのは「出会い」である、と確信される百村社長の宝の一つです。

「身の丈に合ったところで、地元に着し、やれることをやっていこう」をモットーとし、「社員やお付き合いのあるお客様や業者の方がハッピーであればいい」ともおっしゃいます。身の丈に合った会社の成長にあわせもえぎの会にも協力してゆきたいと心強いお言葉もいただきました。

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会后援会

問い合わせ先 もえぎの会后援会事務局(電話: 03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家

沙羅の家 向原始動！

世話人 長谷茂雄

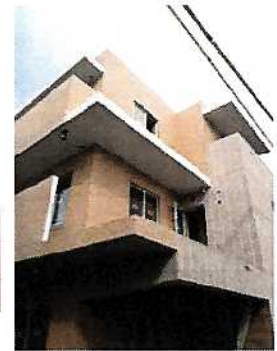
2011年4月より、もえぎの会としては2軒目のケアホームとなる「沙羅の家 向原」がオープンしました。定員7名ですが、順次、利用者さんに入居していただき、利用者さんや運営の安定を確認しながら入居者を増やす予定です。

新しいケアホームも利用する方が住みやすいように環境を整え、地域の方々に受け入れられる場となるように運営していきたいと考えております。



沙羅の木
今度の家にも、
シンボルとして
植えられます。

沙羅の家 向原
外観



クリスマスイベント

2010年12月23日の天皇誕生日を利用してクリスマスイベントを行いました。まず昼食には武蔵小山の「ちいさなフライパン」という洋食屋さんへ行きました。「グラタン」「ハンバーグ」「スパゲッティー」など各自好きなメニューを注文し、皆さんとても満足したようです。

帰りには「patisserie de bon coeur」と言うオシャレなケーキ屋さんで、こちらも各自好きなケーキを購入し、その後、東急目黒線の跡地に新しく整備された遊歩道を散歩して帰宅しました。天気にも恵まれ楽しく外出できました。



洋食屋さんでの食事



何にしようかな？！

編集後記

早いもので新しい年度が始まりました。今年はまだ新たに事業所が増え、5か所での運営となりました。

人数が増えても、同じ志を持って利用者はもちろん、地域にも貢献できる存在になれるよう力を合わせていきますので、今後ともよろしく願います。(岡田な)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)電話：03-5724-7153

e-mail：shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

